

本町分遣所職員 3 人が緊急消防援助隊派遣

鹿児島県隊の一員で出動指示



鹿児島県隊の車両



町長へ活動状況を報告する分遣所職員



想像を絶する被災地の状況

東日本大震災の被災地で救援活動をするため、3月14日、県内の15消防本部から、消防応援制度に基づく緊急消防援助隊36隊108人が派遣されました。

本町からも、東・長島両分遣所の職員3人が、阿久根地区消防組合の5人の一員として緊急消防援助隊鹿児島県隊に加わり、陸路で東京方面を目指しました。

県隊は4日間かけて被災地の石巻市に入り、被災者の救出と、行方不明者の捜索活動を20日の夜まで行いました。

被災地では、町中ががれきの山となり、想像を絶する光景に、自然の驚異を見せつけられたとのことでした。

今回、派遣された東・長島分遣所の職員は次のとおりです。

- ▼赤崎 祐樹（消防士長）
- ▼中村 勇三（消防士長）
- ▼杉原 修（消防士）